








ネオテクノロジー

技術者視点で厳選したパテントガイドブックシリーズ新規追加！

各巻・同時1アクセス	¥88,000(本体)	各巻・同時3アクセス	¥110,000(本体)
	<h3>人工知能で変わる自動車ビジネス</h3> <p>本書は、最近の国内特許情報から人工知能が自動車産業においてどのように用いられているのかを俯瞰しました。自動車を、単なる移動手段ではなく、ユーザーの情報端末として捉えることで、人工知能を活用したビジネス展開の応用範囲広がります。新たなビジネス展開の検討のために、ぜひ本書をご利用ください。</p>		発行年
			2016
			商品コード
			1022205527
	<h3>ニューラルネットワーク回路の実用化と特許展開</h3> <p>本書はニューラルネットワーク神経回路の最近の技術と企業の急速なビジネス展開を特許情報から俯瞰しました。ICT社会実装の企業の取組みと最近のニューラルネットワークのモデル化など、目を通しておくべき最近の注目特許情報をアングルに分けています。神経回路の実用化は気づかぬうちに電力の発電量予測や鉄鋼圧延工程のプロセス制御、消費者の購買動向分析だけでなく、身近な電子機器やHDD故障予知、医療エレクトロニクス、ひとの行動や脳の感情判定やロボティクスの最適制御などへと広がっています。</p>		発行年
			2016
			商品コード
			1022205528
	<h3>車両衝突の防止・軽減のためのセンシング技術</h3> <p>本書は最近の特許情報から、車両衝突の防止・軽減のためのセンシング技術に関する特許情報を取り上げています。運転者の覚醒度低下等の検知による走行・制動支援、車両周辺の障害物を検知して衝突を回避する制御、車線の逸脱防止、衝突の検知後の被害軽減などを取り上げています。さらに乗員の保護、歩行者の保護なども取り上げています。</p>		発行年
			2015
			商品コード
			1022205516
	<h3>車載ミリ波レーダ技術</h3> <p>本書は最近の特許情報から、車載ミリ波レーダに関する技術を俯瞰しました。自動走行の障害物検知や他車検知、ミリ波レーダとカメラの併用、レーダセンシング信号のデータ処理や判定、推測、走行シーンに応じたレーダ情報の活用、ミリ波の送信から受信を含めたシステム制御、異常や故障対策、アンテナの装着やレードームの装飾材料など、代表的な特許情報を取り上げています。</p>		発行年
			2015
			商品コード
			1022205525
	<h3>仮想現実VRと拡張現実ARのビジネス観点</h3> <p>本書では、特許情報から最新の典型例を選び、モノづくりと密接にかかわりあって急速に力を強めるバーチャルリアリティの最新技術と企業の動きを紹介し、読者との接点をご覧頂きます。</p>		発行年
			2015
			商品コード
			1022205526

2017年2月

	<h2>クルマのセンサ技術</h2> <p>本書では最近の特許情報から、自動車に用いられるセンサを俯瞰しました。トルクセンサや回転角センサ、レーダ/超音波センサ、荷重および圧力センサ、加速度および速度センサ、ガスセンサと温度センサ、電流センサと光センサなどを取り上げています。</p>	<table border="1"> <tr><td>発行年</td><td>2014</td></tr> <tr><td>商品コード</td><td>1022205515</td></tr> </table>	発行年	2014	商品コード	1022205515
発行年	2014					
商品コード	1022205515					
	<h2>クルマとビジネスモデルの全体俯瞰</h2> <p>まず目に付くのは、充電時のクルマと地上施設との通信を利用したビジネスです。EV充電時に、電氣的接続状態を利用した通信により、クルマと地上施設の情報授受をする際のビジネスチャンスが大きくクローズアップされています。次に、コンテンツです。車両の種類や特徴、運行管理、料金所や保険など、多様な情報をどのような価値で提供するかで新たなビジネスチャンスを狙う企業の動きを垣間見ることができます。</p>	<table border="1"> <tr><td>発行年</td><td>2014</td></tr> <tr><td>商品コード</td><td>1022205522</td></tr> </table>	発行年	2014	商品コード	1022205522
発行年	2014					
商品コード	1022205522					
	<h2>運転支援と画像モニタリング技術</h2> <p>クルマの自動走行や運転支援技術の一つに、情報通信を活用した画像モニタリングがあります。本書は最近の特許情報から、俯瞰やパノラマ、運転者への見やすさ、死角の対策、白線や停止線、ひと(運転者)に着目、シーンへの対応、誤認とノイズ対策など、運転支援用画像モニタリング技術を俯瞰しています。</p>	<table border="1"> <tr><td>発行年</td><td>2014</td></tr> <tr><td>商品コード</td><td>1022205523</td></tr> </table>	発行年	2014	商品コード	1022205523
発行年	2014					
商品コード	1022205523					
	<h2>自動駐車をにらんだ最新の駐車支援技術</h2> <p>本書は、自動駐車を実現するための様々な取組みを最近の特許情報から探りました。駐車枠の撮像センシング、操舵コントロール、失敗パターン学習、遠隔操作など、最新の特許情報から注目すべき観点を抜き出し、各社が取り組む自動駐車の技術と特許出願の全体像を俯瞰しています。特許情報から技術と企業の動きを把握し、研究開発の方向付けにお役立てください。</p>	<table border="1"> <tr><td>発行年</td><td>2014</td></tr> <tr><td>商品コード</td><td>1022205524</td></tr> </table>	発行年	2014	商品コード	1022205524
発行年	2014					
商品コード	1022205524					
	<h2>最新圧力センサ 自動車関連での攻めのポイント ~安全性・快適性の視点から~</h2> <p>本書では、最新の特許情報から自動車に関わる圧力・感圧センサの用途を探りました。ワイドレンジで高精度な検知。過酷環境下での高い信頼性。圧力センサ・感圧センサは、自動車の走行・安全・快適制御に不可欠な厳しい要求にこたえるセンサです。足廻り(タイヤ、ブレーキ)、ドアやウィンドウの安全開閉、衝突検知、安全走行支援、快適・省エネの空調、乗員情報検知などが表れています。ただし、燃料噴射・エンジン制御関連は除外しています。</p>	<table border="1"> <tr><td>発行年</td><td>2010</td></tr> <tr><td>商品コード</td><td>1022205517</td></tr> </table>	発行年	2010	商品コード	1022205517
発行年	2010					
商品コード	1022205517					
	<h2>クルマ社会と情報通信技術</h2> <p>情報通信技術の急速な進展はクルマ社会にどのように現れるのか、最近の特許情報から俯瞰しています。車両管理システムや運転支援通信、自動車間通信、路車間通信、車と携帯電話間通信、車内及び車両機器間通信に分けて俯瞰しています。</p>	<table border="1"> <tr><td>発行年</td><td>2009</td></tr> <tr><td>商品コード</td><td>1022205519</td></tr> </table>	発行年	2009	商品コード	1022205519
発行年	2009					
商品コード	1022205519					
	<h2>クルマ社会と情報通信技術 Part2</h2> <p>本書は、自動車が生活の道具として社会に溶け込んでいる現在のクルマと情報通信技術のかかわりの特許情報から探ります。人と安全、運転支援、車車間での情報通信、路車間での情報通信、携帯機器との情報通信、車載機器の情報通信などが表れています。</p>	<table border="1"> <tr><td>発行年</td><td>2014</td></tr> <tr><td>商品コード</td><td>1022205518</td></tr> </table>	発行年	2014	商品コード	1022205518
発行年	2014					
商品コード	1022205518					
	<h2>自動車運転支援情報通信技術</h2> <p>本書は最近の技術をアングルという視点で捉えており、さらに探掘した調査を行う上でのガイドとしてもご利用いただけます。深掘調査には特許分類IPC(国際特許分類)や日本特許庁独自のFI(ファイルインデックス)を使うと便利です。このIPC/FIガイドでは、本書で実際にとりあげたアングルごとの特許情報に用いられている特許分類(IPC/FI)を抽出し、掲載しています。</p>	<table border="1"> <tr><td>発行年</td><td>2009</td></tr> <tr><td>商品コード</td><td>1022205521</td></tr> </table>	発行年	2009	商品コード	1022205521
発行年	2009					
商品コード	1022205521					
	<h2>自動車運転支援情報通信技術 Part2</h2> <p>本書は Part1にあたる発刊(2009年)が行われていますが、その後の自動車の性能アップとともに他車との衝突回避や交差点での安全走行、自転車情報の確保で高精度な授受だけでなく、新たに歩行者への安全やEVへの充電支援という新しい観点が付加されています。発明の技術領域と観点から、7つに分類しています。</p>	<table border="1"> <tr><td>発行年</td><td>2014</td></tr> <tr><td>商品コード</td><td>1022205520</td></tr> </table>	発行年	2014	商品コード	1022205520
発行年	2014					
商品コード	1022205520					

2017年2月